

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2025
vol.26

令和7年12月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

皮膚科／血液浄化療法部／精神科／臨床教育部



血液浄化療法部スタッフ



山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

皮膚科

Dermatology



放射性同位元素で同定された
センチネルリンパ節

皮膚疾患は全身に出現し、かつ症状が多彩であることが特徴です。当科では専門外来を多数設置し、患者さんひとりひとりに合ったきめ細やかなケアを心がけています。

なかでも悪性腫瘍の診療に力を入れており、これまで複数の先進的な手術方法を提唱し、本邦の皮膚悪性腫瘍の手術治療をリードしてきました。例えば、皮膚がんはリンパ節に転移をきたす症例が多く、2010年より悪性黒色腫に対するセンチネルリンパ節生検が保険適応となりましたが、当科では以前から悪性黒色腫以外の皮

膚がんに対しても積極的に同生検を施行してきました。また、この生検において、放射性同位元素と色素を併用することでセンチネルリンパ節をより正確に同定できることを明らかにしました。

転移が認められた

症例には、リンパ節郭清も積極的に実施しています。さらに陰部に好発する乳房外パジェット病においては、マッピング生検（腫瘍周囲の小皮膚片を網羅的に採取する検査）を行うことで、切除範囲の同定が容易になることも早くから提唱してきました。

当科は開局以来、臨床と研究の両面において、精力的に取り組んでまいりました。これまでに複数の医局員が国内外で権威ある賞を多数受賞し、世界の臨床研究をリードしています。臨床では研究で得られた知見をもとに、最先端の医療を患者さんに提供できるよう医局員一同日々研鑽を積んでいます。



色素によって青く染まった
センチネルリンパ節

血液浄化 療法部

Blood Purification Center

法を提供しています。また、教育研修機関として、専門的知識と技術を備えた人材育成にも力を注ぎ、県内医療の基盤を支えています。

入院中の慢性腎不全患者さんに対する血液（ろ過）透析を中心に、各診療科の治療方針に応じて、血漿交換、免疫吸着療法、LDL吸着療法、血球成分除去療法、エンドトキシン吸着療法などを行います。また、腹膜透析やプラッドアクセス管理、腎移植後の診療を実施しており、患者さんの病態やライフスタイルに応じた治療選択を支援しています。さらに、透析時の運動療法の導入にも取り組み、サルコペニアやフレイルの予防、QOL向上を目指しています。

今後も安全で質の高い血液浄化療法を通じて、地域医療の発展と腎疾患診療の充実に貢献してまいります。



皮膚科／血液浄化療法部／精神科／臨床教育部

精神科

Psychiatry

近年、精神科医療に対する社会的ニーズはますます高まっているといえます。山梨大学精神科では、統合失調症、うつ病、双極性障害、不安症に加え、発達障害や摂食障害、さらには認知症と、ライフステージ全般にわたる幅広い精神疾患の治療にあたっています。

当科では、とりわけうつ病などの気分障害の治療を専門的に行っているほか、他科との緊密な連携を要する身体合併症の治療やコンサルテーション・リエゾン、認知症ケアチームの活動などにおいて、中心的役割を果たしています。

また特色として、治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン導入や、難治性うつ病などに対する電気けいれん療法(ECT)を年間約150例実施しており、薬物療法などで十分な効果が得られないケースについては、地域医療機関からのご紹介を積極的に受け入れて

います。さらに、令和3年2月には、県内唯一の妊産婦メンタルヘルス専門医療機関である「産前産後ウェルビングセンター」を設置し、周産期から産褥期に至るまで母親やその家族のメンタルヘルスについて包括的に支援できるよう体制を整えています。

今後もアンメットニーズに応えるべく、精神疾患の診断・治療の質を高め、社会に貢献できるよう、取り組んでまいります。

**臨床教育部**Department
of
Clinical Education

現在、医療を取り巻く環境は大きな転換期を迎えしており、医療の高度化・専門化が急速に進む中で、「患者中心の医療」を継続しつつ、医療の質と安全性を一層高めること

が強く求められています。このような社会的背景のもと、臨床教育部は「確かな診療能力」「使命と責任の自覚」「豊かな人間性と高い倫理性」を備えた医療人の育成を最大の使命として活動しています。

臨床教育部は、臨床実習センター、臨床研修センター、専門医キャリア支援センター、特定行為研修センター、医療スタッフ研修センター、シミュレーションセンターの6つのセンターで構成され、各診療科の教育医長、看護部、事務部門と緊密に連携しながら、当院に所属するすべての医療専門職を対象とした教育・研修を推進しています。また、医学生に対しては、地域住民ボランティアの協力による医

臨床教育部

療面接実習や、多様なシミュレーション機器を活用した基本的臨床手技トレーニングなど、低学年から実施する臨床演習を臨床教育部が中核となって展開しています。

私たちは、良質で最適な医療の基盤となる臨床教育のさらなる充実に向けて、誠心誠意取り組んでまいります。

臨床実習センター

医学科生、看護学科生の臨床実習を統括

臨床研修センター

研修医に研修カリキュラムを提供

専門医キャリア支援センター

専門医制度の情報提供、キャリア形成の支援

特定行為研修センター

看護師のスキルアップ、タスクシフト支援

医療スタッフ研修センター

Co-medical職員の知識、技能向上、資格取得の支援

シミュレーションセンター

地域の医療人材育成と多職種連携の教育拠点

セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主 催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第26回 山梨県小児医療セミナー	日本小児科学会山梨地方会 他 共催	2026年1月13日	山梨大学医学部 臨床大講堂	内線 2322

*上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111(代表)へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

防災トリアージ訓練を実施しました。

11月29日(土)、当院にて防災トリアージ訓練を実施しました。

今回は、近年の新興感染症の流行やNBC(核・生物・化学)災害への懸念を踏まえ、新興感染症流行下で化学物質事故が発生する「複合災害」への対応能力向上を目的としました。

訓練は、地震により山梨県内の公道において発生した化学物質積載車両の横転事故により毒性の液体およびガスが流出し、事故当事者や周辺住民が体調不良を訴え、時間の経過とともに当院救急外来への受診者が増加するという事象を想定しています。



NBC 除染テント内



受付の様子



訓練後の検証会

「やまなし肝ぞうデー2025—未来のために行動するじゃん!—」を開催しました。

11月16日(日)、当院肝疾患センターと山梨県の共催により、肝炎撲滅に向けた検査受検促進事業の一環として「やまなし肝ぞうデー2025」をイオンモール甲府昭和で開催しました。3年目となる今回は、「未来のために行動するじゃん!」をテーマに、フィブロスキャンを中心とした検査体験やポスター展示、クイズ大会、肝炎体操、スタンプラリーなど多彩な企画を実施しました。今回多くの皆さんにご来場いただき、幅広い世代が楽しみながら肝臓への理解を深める機会となりました。運営にあたりましては、山梨県内の肝疾患コーディネーターをはじめ、臨床検査技師の皆さんに多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今後も山梨県の肝炎撲滅に向け、啓発活動や検査・受検の促進に取り組んでまいります。

